

平成25年度

事業計画書

自 平成25年4月 1日

至 平成26年3月31日

公益財団法人 ノーマライゼーション住宅財団

# 平成25年度 事業計画

## 〈基本方針〉

一昨年から見ると世の中の経済環境等が少しずつ変化し、国内においても経済情勢が上向きに転じている傾向と言われておりますが、混沌としております。道内企業ではいまだ厳しい状況が続いており、当財団の基本財産運用収入は減少傾向を余儀無くされております。この様な状況の中ではありますが、当財団は平成25年度公益財団法人へ移行後2年目を迎えることとなりました。このことから、本年度は管理面、制度面をもっと充実して整備の必要性・重要性の部分を見直していき、それらに関する費用の支出も想定されますが、今年度も収支予算の緊縮を余儀無くされるものと思えます。これらの現状を踏まえ平成25年度は、公益に資する法人として気持を新たにし、さらに当財団設立の原点に基づき、高齢者や障がい者が安全で安心して快適に暮らせる住生活の整備・向上の支援を通して、全ての人が生きがいをもって生活できる社会づくりと社会福祉の増進に寄与する事業に取り組んで参ります。

## 〈事業計画〉

### I、福祉住宅の建築に関する助成及び情報提供事業

#### (1) 助成金による福祉住宅建築支援

当財団設立以来、25年目を迎える事業として今年も継続していきます。

高齢者や障がい者が、安全で安心して快適に暮らせる住宅、また将来身体機能等が低下しても安心して生活できる住宅の普及を目指します。

福祉住宅として新築・リフォームされた建築主、およびグループホームや高齢者向けアパートなどの福祉小規模集合住宅の建築主から数多くの応募を受付、審査のうえ今後の参考に資する施工物件に対して助成金を給付します。

#### (2) 福祉住宅建築助成事例集「ふれあい」発行

助成建築主へ直接取材を行い、今後の福祉、介護面等の参考となる事例や建築アイデアなどを、当財団情報誌により広く提供していきます。

専門家のアドバイスや、工夫した点、実際に暮らしてみても感想なども綴られています。

小誌は、地方自治体および社会福祉協議会など関係諸機関に配布し、地域の皆様に役立てていただきます。

## II、ノーマライゼーション理念の普及啓発事業

### (1) 広報誌「WITH LIFE (共に生きる)」発行

福祉に関する情報を掲載し、ノーマライゼーションの理念と実践を紹介する当財団の広報誌です。

ノーマライゼーションを実践されている方々の対談やインタビューをはじめ、福祉事情の紹介や福祉住宅の設備、福祉機器、快適で便利なシステムなど、役立つ情報をわかりやすく紹介していきます。

「ふれあい」同様、地方自治体や介護支援の事業所及び社会福祉協議会など各関係諸機関に配布し、社会福祉の増進に役立てていただきます。

### (2) 小・中学生によるアイデア・コンテスト

昨年度までは表題が「おとしよりが楽しく暮らすためのアイデア・コンテスト」でしたが、数多く広い視野からアイデアを募集して行きたいという事で小中学生による「安全・快適アイデア」コンテストと表題を新たにし、本年度は第18回目のコンテストを迎えさらに多くの小中学生に参加して頂き作品を応募して頂きます。モットーは、「すべての人が共に暮らし共に生きることがノーマル（正常）である」というノーマライゼーション理念の普及・啓発を図るため子どもたちの“こころ”を育てます。

おとしよりや障がいを持つ人が、明るく楽しく生活できるアイデアや、安全に外出を楽しめる環境づくり等についての提案をしてもらいます。

### (3) 福祉事情に関する情報収集及び提供

今年度及び来年度のスケジュールとして、視察研修も道内だけではなく国内（四国・九州）方面も視野に入れてあらゆる福祉全般に関する情報収集を目的として、有識者や福祉関係者などに呼び掛け、福祉住宅状況や福祉事情など把握し研修視察をし、「WITH LIFE」等でレポートにて発表していきます。

## III、その他事業

公益法人としての責務を自覚し、この法人の目的を達成するための積極に事業に取り組んでいきます。